

# 仙台メビウス通信

ごみ減量・リサイクル  
推進啓発キャラクター  
メビウスちゃん



●編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課  
●電話 214-8227

## あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

スキルアップ研修「多文化共生講座」を実施しました	1P
リチウムイオン電池等の分別収集にご協力をお願いします	2P
仙台市環境局からのお知らせ 他	3P
せんだいリポート「サーキュラーファイトクラブ」の紹介 他	4P

① 難しい言葉(漢語、略語、方言など)は使わない。日常生活で使う簡単な言葉(「やさいい日本語」のポイント)は、

仙台市でも増加している外国人住民ですが、中国、ネパール、ベトナム、韓国など母語が英語ではない方も多く住んでいます。日本語を学んでいる方も多いため、「やさしい日本語」を使うことで、「コミュニケーション」を取ることができるというお話がありました。「やさしい日本語」とは難しい日本語を言い換えるなど相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

「やさしい日本語」のポイント、

仙台市でも増加している外国人住民ですが、中国、ネパール、ベトナム、韓国など母語が英語ではない方も多く住んでいます。日本語を学んでいる方も多いため、「やさしい日本語」を使うことで、「コミュニケーション」を取ることができるというお話がありました。「やさしい日本語」とは難しい日本語を言い換えるなど相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

仙台市で年々増加している外国人住民を対象に、どのように接したらいいか・どのようにこみの出し方を伝えたらいいかを学ぶため、スキルアップ研修「多文化共生講座」を5月29日に実施しました。

(公財)仙台観光国際協会(Sentia)から講師と仙台市在住の外国人スタッフをお招きし、研修の前半では仙台市の外国人住民の状況や地域での取組事例の紹介、後半はやさしい日本語を使用したポスターの書き換えや外国人にこみの出し方を伝えることを想定したロールプレイングを行いました。

日本国内では、年々在留外国人が増え、昨年6月末時点で過去最高の約322万人になったこと、仙台市でも増加傾向にあり、外国人住民数が約1万6千人になるとお話をしました。また、仙台市の外国人住民は、中国・ネパール・ベトナム・韓国の順に多く、目的別では留学・永住の方が約半数を占めているそうです。

### スキルアップ研修「多文化共生講座」を実施しました



後半のグループワークでは、Sentiaの外国人スタッフが各グループに入り、ポスターの書き換えやロールプレイングを行いました。イラストや写真を活用すると、伝わりやすいといった意見や、こみを出した時などに、あいさつをしてもらうだけでも嬉しいといった外国人スタッフからの意見もあり、とても盛り上がりました。

Sentiaでは、外国人対応の相談も行っています。外国人に関するお困りごと・相談がある際は、ご相談ください。また、集積所ステッカーは、外国語版もございますので、ご入り用の際には、各環境事業所へご連絡ください。

問：家庭ごみ減量課 214-82250

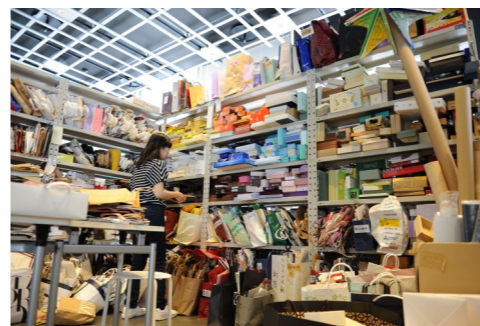
## せんだいリポート「サーキュラーファイトクラブ」の紹介

「サーキュラーファイトクラブ」は、「ごみ」や「資源」について、手の届くところから取り組むクラブ活動です。ワケあり雑がみ部、プラごみ部、コンポスト部、解体部など、ワークショップを通して楽しみながら手を動かす自由時間です。活動紹介ブースや資料コーナーも今後、設置予定ですので、どなたもぜひ気軽にお越しください!



場所：せんだいメディアテーク7階 スタジオa  
日時：10月11日(金)、12日(土)、11月15日(金)、16日(土)、12月6日(金)、7日(土)  
各日 10:30~16:00  
※時間が決まっているイベントもあります。

入場無料、予約不要、直接会場へ  
(参加希望者が多数の場合は入場を制限させていただく場合があります)  
主催：仙台市環境局、



せんだいメディアテーク(仙台市市民文化事業団)  
問：●サーキュラーファイトクラブ企画・当日について  
せんだいメディアテーク企画・活動支援室  
713-4483 Web: [www.smt.jp](http://www.smt.jp)  
●せんだいリポートについて  
家庭ごみ減量課 214-8229

## ごみ出しを支援する団体へ奨励金を交付しています

高齢や障害等の理由により、家庭のごみ出しが困難な世帯のごみ出し支援を行う団体に対し、奨励金を交付しています。

地域でごみ出しに困っている方の支援をしている・したいと考えている団体がありましたら、ぜひ登録をご検討ください。

- 団体要件：市内に所在する町内会や老人クラブ、NPO法人などの非営利の活動を行う団体
- 支援世帯：次のいずれかに該当する方のみで構成される世帯①申請時に75歳以上の方②要介護1~5認定を受けている方③身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている方
- 奨励金額：活動1回・1世帯当たり家庭ごみ等140円、粗大ごみ等280円。半期ごと上限有り。

問：家庭ごみ減量課 214-8250



問：環境共生課

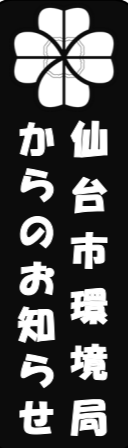
214-0013



←ツキノワグマ対策のページはこちらから



◆秋のクマに注意！  
 秋は冬眠前のクマがエサを求めて住宅地の近くに出歩くことがあります。庭の柿や栗はクマの好物でもあるため、早めに収穫しましょう。また、クマは雑食のため、生ごみに引き寄せられることもありますので、屋外に長時間生ごみを放置することは避け、ごみを出すときは臭いがもれないよう気を付けましょう。  
 クマは、早朝や夕方に活発に活動します。目撃情報のある地域では、朝のこみ出し時や外出時には鈴やラジコを携帯しましょう。万が一クマに出合った場合には慌てず、向き合ったままゆっくり後退してください。  
 なお、クマに関する情報は市ホームページ(サイト)内検索で「ツキノワグマ対策」と検索をご覧ください。また、季節ごとの注意点などをわかりやすくまとめた啓発動画も掲載しています。ぜひご覧ください。



### フードドライブを実施しています

～家庭から出る食品ロスの削減にご協力ください～

仙台市では、まだ食べることができるにもかかわらず捨てられてしまう食品ロスを削減するため、事業者と協力し、自宅等で余っている食品を持ち寄りフードバンク団体等へ寄付する「フードドライブ」を実施しています。

令和6年度は31カ所に回収拠点を設置し、回収拠点からの食品の運搬を下記の法人の皆さんにご協力いただいております。

家庭や職場に眠っているまだ食べられる食品がありましたら、ぜひご提供ください。

#### 1. 常設回収拠点 31カ所(令和7年3月31日まで)

イオン市内5店舗(仙台店、仙台幸町店、イオンスタイル仙台卸町、仙台中山店、仙台富沢店)、ヤマザワ市内2店舗(住吉台店、中田店)、藤崎本館、フードマーケットフジサキ、エスパル仙台、宮城ダイハツ販売市内7店舗(六丁の目店、仙台港北インター店、仙台栗生店、仙台黒松店、仙台泉店、長町店、中田店)、東急リパブル市内センター5カ所(泉中央センター、東北支店仙台センター、仙台東口センター、仙台駅前センター、長町南センター)、青葉区役所、宮城野区役所、若林区役所、太白区役所、泉区役所、仙台市福祉プラザ、仙台市市民活動サポートセンター、葛岡・今泉リサイクルプラザ

※各施設の閉庁・閉館・休業日を除きます

※回収時間は、各施設の開庁・開館・営業時間となります

#### 2. 回収品目

賞味期限まで1カ月以上ある常温保存ができる食品(生鮮食品以外)

※アルコール類は受け入れません(みりん、料理酒は提供可)

#### 3. 運搬に協力していただいている事業者

日本たばこ産業株式会社東北支社、有限会社宮城中央保険、株式会社パソナ、一般社団法人アート・インクルージョン、社会福祉法人つどいの家、東急リパブル株式会社、社会福祉法人あおぞら、明治安田生命保険相互会社仙台支社、宮城ダイハツ販売株式会社、社会福祉法人青葉福祉会、社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会、社会福祉法人なのはな会

問：家庭ごみ減量課 214-8229



回収した食品の一部



## ごみ収集車の火災事故が発生！ リチウムイオン電池等の分別収集にご協力をお願いします！

令和6年6月、仙台市内において家庭ごみに混入した加熱式たばこ(小型充電式電池を使用した機器)が原因とみられるごみ収集車の火災事故が発生しました。本市では、これまでごみ収集車の火災事故が複数発生しています。ごみ収集車の火災は、近隣住宅・市民の皆さまへの被害や収集作業員の人命にかかわる重大な事故につながるおそれがあり、大変危険です。



←仙台市内で発生したごみ収集車の火災事故の様子

仙台市では「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の日に小型充電式電池及びこれを使用した機器(モバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池を内蔵した小型家電)を収集しています。火災事故の未然防止を図るため、適正排出にご協力をお願いいたします。

#### (1)対象品目

小型充電式電池  
 (リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、ニカド電池)  
 ※鉛蓄電池(自動車用バッテリー等)は出せません



小型充電式電池を使用した機器のうち、電池を容易に取り外すことができないもの  
 (モバイルバッテリー、加熱式たばこ、電動歯ブラシ等)

※30cmを超えるものは「粗大ごみ」へ

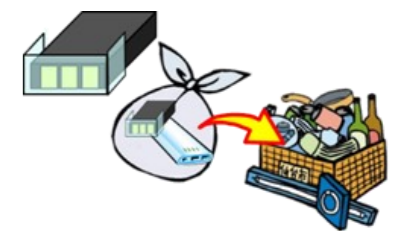


#### (2)収集日

「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の収集日(週1回)

#### (3)排出方法

- 電池は、端子部分にテープを貼って絶縁を行ってください。電池の端子同士が直接触れると発火・発煙のおそれがあります。
- まとめて透明な袋に入れてから、黄色の回収容器へ入れてください。



問：家庭ごみ減量課 214-8226

#### ■各区環境事業所連絡先一覧

- |          |          |           |          |
|----------|----------|-----------|----------|
| ・青葉環境事業所 | 277-5300 | ・宮城野環境事業所 | 236-5300 |
| ・若林環境事業所 | 289-2051 | ・太白環境事業所  | 248-5300 |
| ・泉環境事業所  | 773-5300 |           |          |